

環境報告書 2021～2022

Environment Report



IDECファクトリーソリューションズ株式会社

基本的な考え方

IDECグループは、地球環境と企業運営の関係において、地球との共生が人類共通の願いであることを認識し、事業活動の全ての面で環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指します。当社もグループの一員として、環境・社会に配慮した事業活動を通して、環境負荷低減に努めてまいります。

代表取締役社長

■ 事業概要



FAシステム



社会・インフラ



ロボットシステム



図書館システム



フードファクトリーシステム

■環境方針

●基本方針

私たちは、持続可能な企業活動を目標に、環境負荷の低減に努めるとともに、お客様に安心いただける製品の提供に心がけます。

●行動方針

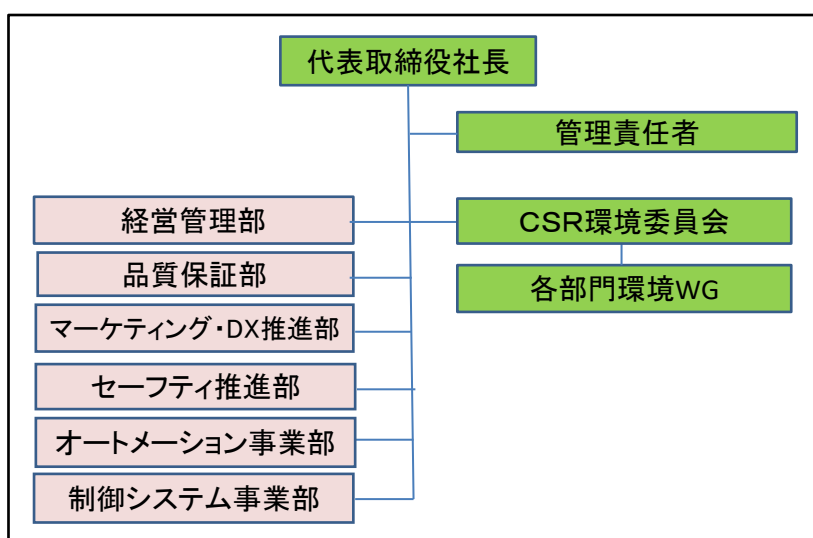
1. 当社に適用される環境関連法規制をはじめとして、当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 環境改善と汚染予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組みます。
3. 社員全員の環境意識を向上し、周知・啓発を行います。
4. 地域との連携を密にして、環境の管理状況について必要に応じて情報開示をしていきます。

●重点方針

1. 工場・生産工程の省エネ、省資源、省廃棄化
2. 自社製品の省エネ・省資源化設計
3. 含有化学物質管理体制の構築

■環境保全の取り組み

●環境マネジメントシステム組織図



●ISO認証取得状況

2012年4月に ISO9001と統合する形でISO14001認証を取得しました。
2018年4月に ISO14001 2015取得

●環境活動

著しい環境側面	環境効果	評価
コピー紙使用量の削減	省資源化	○
電力使用量の削減	省資源化	○
プラス環境側面	環境効果	評価
グリーン調達	化学物質汚染の予防	○
会社周辺のゴミ収集活動	会社周辺の環境向上	○

環境活動の取組み

本社棟に太陽光発電パネルと自動車用充電装置の設置

2022年4月から稼働



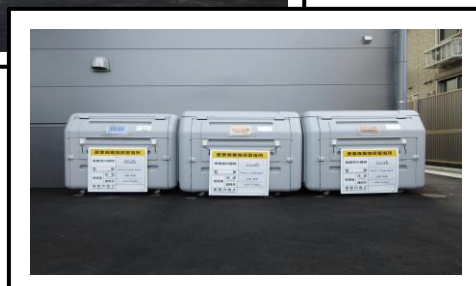
本社棟の電力使用量
13%削減



新本社の全室に 熱交換機ユニット設置



廃棄物の分別と リサイクル品の収集



COOL CHOICE賛同

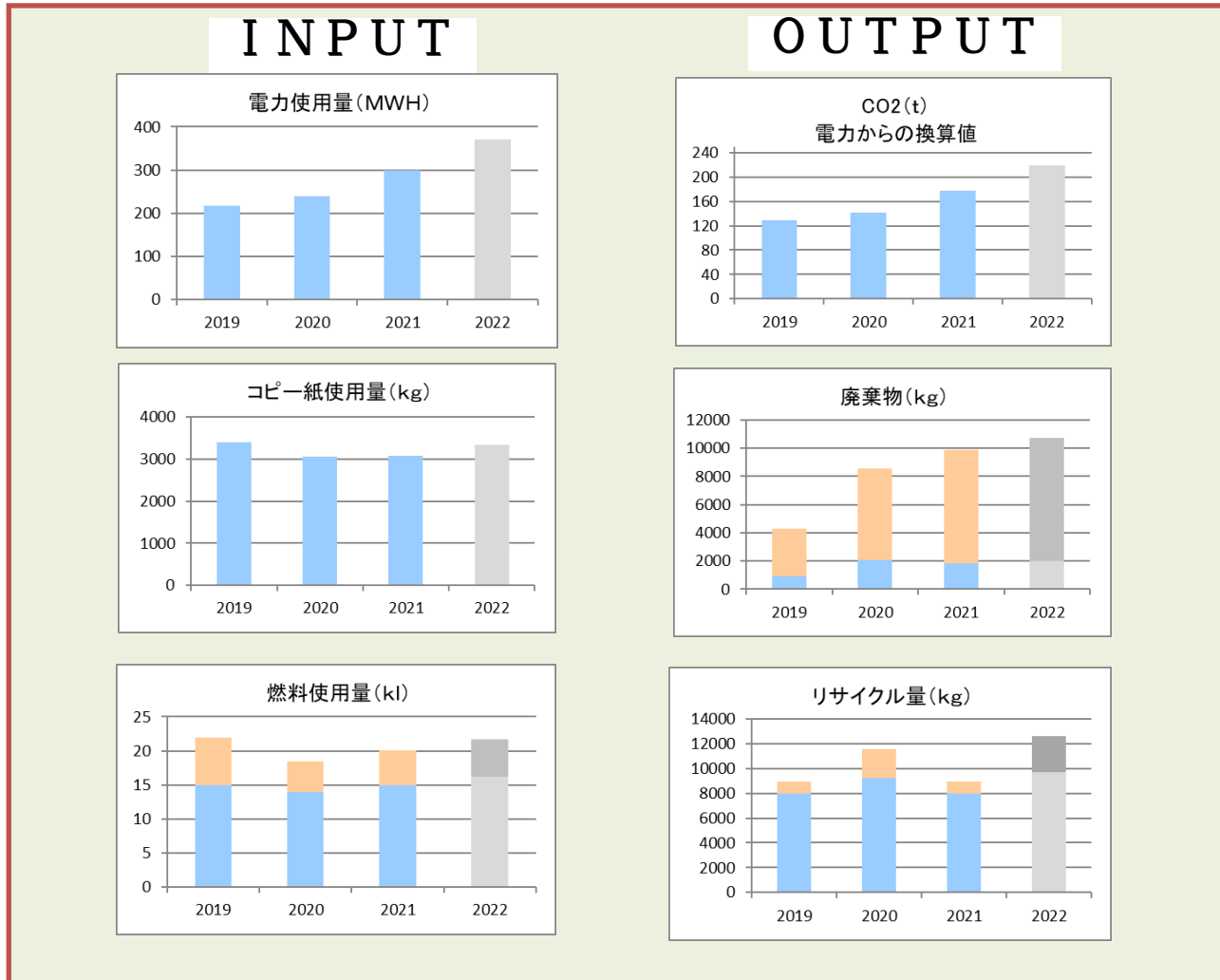


グリーン調達ガイドライン

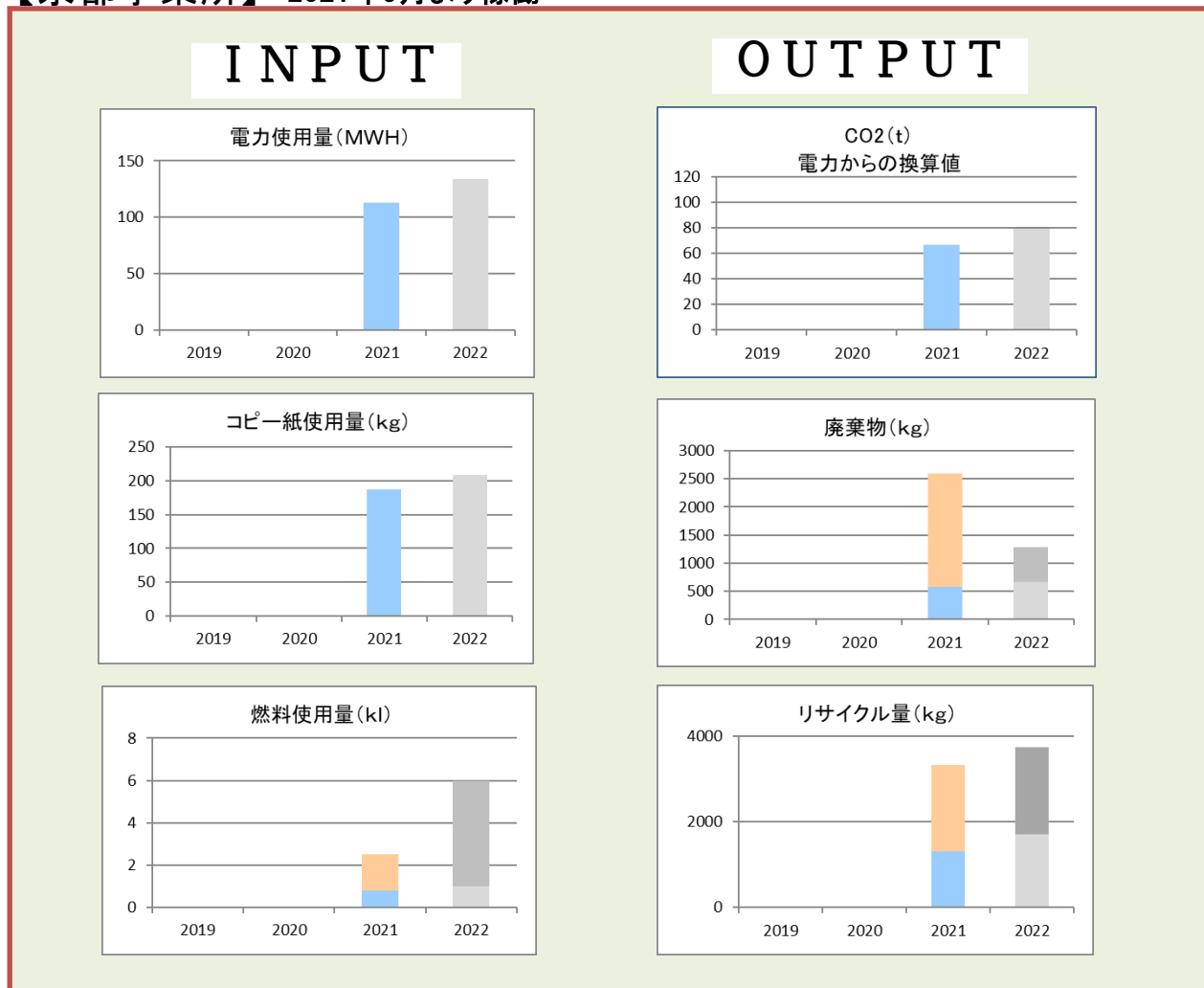


■ マテリアル フロー

【本 社】



【京都事業所】 2021年5月より稼働



■ 教育・訓練

環境教育と実践

全社員教育、部門教育、認定者教育と環境WG(ワーキング)活動を通じた実践展開の継続。

種類	内容	開催回数/年
ISOリフレッシュ教育	品質・環境マネジメントシステムの理解	1回
内部監査員 リフレッシュ教育	内部監査に関する規格と内部監査規程の理解	1回
検査員・出荷許可責任者 リフレッシュ教育	検査員及び出荷許可責任者の役割	1回
部門教育	著しい環境側面、プラス環境側面の理解	1回
環境WG活動	各部門で著しい環境側面、及びプラス環境側面の対策と実施	12回

地域貢献活動

会社周辺の草刈り・ゴミ拾い

【本社】

地域貢献報告

**2022年度 第2号
社会貢献委員会発行**

【委員長】	【主幹】	【作成者】
時田	高浪	祖父江 弘

【実施日】2022年8月25日（火）

今年度最初の地域清掃活動は、雨で延期が続きましたが、ようやく実施することができました。夕方でも日差しが強く、蒸し暑い中での活動となりました。昨年度に引き続き、会社前道路、東島倉庫・イーグル駐車場の草刈り、国道沿いのゴミ拾いを中心に活動を行いました。（左地図参照）



「委員長のコメント」
皆さん、地域社会との信頼性の構築に向けた会社周辺地域の清掃活動にご協力いただきまして、誠に有難う御座いました。会社周辺地域の清掃活動は、今年度も昨年度と同様に、年間3回での実施を計画しております。ホイ捨てゴミがなかなか減っていかない状況にありますので、今後とも何卒、ご協力をお願い致します。

※草の重量は50kg、20袋になりました。
<揭示期日>9月30日

イーグル駐車場




【実施前】
【実施後】

東島倉庫




【実施前】
【実施後】

国道沿い清掃の様子




【京都事業所】

地域貢献報告

**2022年度 第3号
社会貢献委員会発行**

【委員長】	【主幹】	【作成者】
時田	高浪	細川

【実施日】2022年10月5日（水）

当日は曇り空でしたが気温は快適で30分間の清掃作業にて21kgのゴミを収集しています。多くの方に協力頂きありがとうございました。前回は空き缶、ペットボトルが少なかったため、雑草の刈取工具3種類の購入と雑草の生えた清掃範囲を増やして、各グループに配分しています。雑草は凸凹したアスファルトやコンクリートの隙間にはえており、刈取工具を使いこなすのに使用場所の選定やコツがあるようで、手で取った方が早い場合もあり、次回は各々の工具を効率良く使用する方法を理解しておくようにしたい。

空き缶、吸い殻を前回より多く回収しており、落ち葉や小さいゴミが散乱している所は、刈取工具が使えず手で拾うには時間がかかるので、ほうきとちりとりも必要と思いました。

21.3kgのゴミを収集
参加者19人で4グループに分れて各色の範囲を清掃



購入した草刈工具(3種類)



赤色、緑色、橙色、黄色で示す4つグループに分かれて清掃

河川敷道路




【清掃前】
【清掃後】




【清掃前】
【清掃後】

清掃活動の様子




国道171号線沿い




【清掃前】
【清掃後】

IDECファクトリーソリューションズ株式会社

<本社>

愛知県一宮市東島町2丁目8番地

TEL:0586-73-8300 FAX:0586-73-9697

<京都事業所>

京都府京都市南区吉祥院新田貳ノ段町106

TEL:075-694-0101 FAX:075-661-5110

報告対象組織 :IDECファクトリーソリューションズ株式会社

発行日 :2022年12月1日

参 考 :環境報告書ガイドライン